別紙１

ばい煙に係る特定施設の構造

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工場等における施設番号 | 　 | 　 |
| 特定施設の種類・型式 | 　 | 　 |
| 設置年月日 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |
| 着手予定年月日 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |
| 使用開始予定年月日 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |
| 規模 | 伝熱面積 （㎡） |  |  |
| 火格子面積又は火床面積（㎡） |  |  |
| 焼却能力 （kg／h） |  |  |
| 添付書類 | １　ばい煙の発生及び処理に係る操業の系統の概要を説明する書類２　特定施設及びばい煙の処理施設の配置図３　特定施設の構造概要図（主要寸法を記載してください｡）４　燃料の燃焼施設（バーナー等）の構造図及び能力を示す資料 |

備考

１　設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載してください。

２　規模の欄には、船橋市環境保全条例施行規則別表第１に掲げる施設の規模又は能力を記載してください。

別紙２

ばい煙に係る特定施設の使用の方法

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工場等における施設番号 | 　 | 　 |
| 使用状況 | １日の使用時間及び月使用日数等 | から　　　　　時間/回　回/日　日/月 | から　　　　　時間/回　回/日　日/月 |
| 季節変動 | 　 | 　 |
| 原材料（ばい煙の発生に影響のあるものに限る。） | 種類 | 　 | 　 |
| 使用割合 | 　 | 　 |
| 原材料中の硫黄分割合（％） |  |  |
| １日の使用量 |  |  |
| 燃　　料 | 種類 | 　 | 　 |
| 燃料中の成分割合(％) | 硫黄分 | 　 | 　 |
| 窒素分 | 　 | 　 |
| 発熱量 | 　 | 　 |
| 使用量 | 最大 | 通常 | 最大 | 通常 |
| 混焼割合 | 　 | 　 |
| 排出ガス量(㎥N／h) | 湿り | 最大 | 通常 | 最大 | 通常 |
| 乾き | 最大 | 通常 | 最大 | 通常 |
| 排出ガス温度　（℃） | 　 | 　 |
| 排出ガス中の酸素濃度　（％） | 　 | 　 |
| ばい煙の濃度 | 硫黄酸化物 （容量比ppm） | 最大 | 通常 | 最大 | 通常 |
| ばいじん 　　 　（g／㎥N） | 最大 | 通常 | 最大 | 通常 |
| 塩化水素 　　　（mg／㎥N） | 最大 | 通常 | 最大 | 通常 |
| 窒素酸化物 （容量比ppm） | 最大 | 通常 | 最大 | 通常 |
| ばい煙量 | 硫黄酸化物 　　 　（㎥N／h） | 最大 | 通常 | 最大 | 通常 |
| 参考事項 |  |
| 添付書類 | １　ばい煙に係る予測計算書２　使用燃料の性状を示す書類 |

備考

１　原材料中の硫黄分割合（％）の欄及び燃料中の成分割合（％）の欄の記載に当たっては、重量比％又は容量比％の別を明らかにしてください。

２　ばい煙の濃度は、乾きガス中の酸素濃度による換算を行わない濃度とし、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度としてください。

３　参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載してください。

別紙３

ばい煙の処理の方法

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ばい煙処理施設の種類・名称・型式 | 　 | 　 |
| 処理に係る特定施設の工場等における施設番号 | 　 | 　 |
| ばい煙処理施設の工場等における施設番号 | 　 | 　 |
| 設置年月日 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |
| 着手予定年月日 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |
| 使用開始予定年月日 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |
| 処理能力 | 排出ガス量　 　(㎥N／h) | 最大 | 　 | 　 |
| 通常 | 　 | 　 |
| 排出ガス温度 (℃) | 処理前 | 　 | 　 |
| 処理後 | 　 | 　 |
| 排出ガス中の酸素濃度 (％) | 処理前 | 　 | 　 |
| 処理後 | 　 | 　 |
| ばい煙の濃度 | 硫黄酸化物(容量比ppm) | 処理前 | 　 | 　 |
| 処理後 | 　 | 　 |
| ばいじん　　 　(g／㎥N) | 処理前 | 　 | 　 |
| 処理後 | 　 | 　 |
| 塩化水素 　 　(mg／㎥N） | 処理前 | 　 | 　 |
| 処理後 | 　 | 　 |
| 窒素酸化物(容量比ppm) | 処理前 | 　 | 　 |
| 処理後 | 　 | 　 |
| ばい煙量 | 硫黄酸化物　　 　(㎥N／h) | 最大 | 処理前 | 　 | 　 |
| 処理後 | 　 | 　 |
| 通常 | 処理前 | 　 | 　 |
| 処理後 | 　 | 　 |
| 捕集効率 | 硫黄酸化物　(％) | 　 | 　 |
| ばいじん　(％) | 　 | 　 |
| 塩化水素　(％) | 　 | 　 |
| 窒素酸化物 (％) | 　 | 　 |
| 使用状況 | １日の使用時間及び月使用日数等 | から時間/回 　回/日　 日/月 | から時間/回 　回/日　 日/月 |
| 季節変動 |  |  |
| 排出口の実高さ Ｈo（m） |  |  |
| 補正された排出口の高さ　Ｈe（m） |  |  |
| 排出速度 （m／s） |  |  |
| 添付書類 | １　ばい煙処理施設の構造概要図（主要寸法を記載してください。）２　ばい煙処理施設の処理効率等を示す資料 |

備考

　１　設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載してください。

２　ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度としてください。

３　補正された排出口の高さＨeは、船橋市環境保全条例施行規則別表第２その１に掲げる式により算出してください。

別紙４

粉じんに係る特定施設の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工場等における施設番号 | 　 | 　 |
| 特定施設の種類・型式 | 　 | 　 |
| 設置年月日 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |
| 着手予定年月日 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |
| 使用開始予定年月日 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |
| 規模 | 堆積場の面積 （㎡） | 　 | 　 |
| 堆積能力 （t） | 　 | 　 |
| 破砕機又は摩砕機の原動機の定格出力 （KW） | 　 | 　 |
| 破砕機又は摩砕機の処理能力 （t／h） | 　 | 　 |
| ふるいの原動機の定格出力 （KW） | 　 | 　 |
| 堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量　(t／年)又は破砕機、摩砕機若しくはふるいの処理対象物の種類及び通常の月間処理量 (t／月) | 　 | 　 |
| 使用及び管理の方法 | 特定施設がその中に設置されている建築物の概要 | 　 | 　 |
| 集じん機 | 種　　　　類　・　型　　　　式 | 　 | 　 |
| 効率　 （％） | 　 | 　 |
| 送風機の原動機出力　 （KW） | 　 | 　 |
| 散　水 | 装置の種類・型式･基数 | 　 | 　 |
| 装置の能力 （㎥／h） | 　 | 　 |
| 散水の方法 （ℓ／t） | 　 | 　 |
| 防じんカバーの設置状況 | 　 | 　 |
| 薬液散布 | 薬液の種類・名称 | 　 | 　 |
| 装置の種類・型式・基数 | 　 | 　 |
| 装置の能力 （㎥／h） | 　 | 　 |
| 散布の方法 | 　 | 　 |
| 締固め | 装置の種類・型式 | 　 | 　 |
| 方法 | 　 | 　 |
| その他の方法 | 　 | 　 |
| 添付書類 | １　粉じんの発生及び処理に係る操業の系統の概要を説明する書類２　粉じんの量等に関する説明書３　特定施設並びに粉じんの処理及び飛散を防止する施設の配置図４　特定施設並びに粉じんの処理及び飛散を防止する施設の構造概要図（主要寸法を記載してください。） |

備考

　１　設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載してください。

２　堆積物の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量又は破砕機、摩砕機若しくはふるいの処理対象物の種類及び通常の月間処理量の欄には、比重、粒度、水分値の概数及び通常の年間延べ堆積量について記載してください。

３　散水の方法、薬液散布の方法、締固めの方法及びその他の方法の欄には、実施の量（例えば散水の場合は、処理量当たりの散水量ℓ／t）、実施頻度等を記載してください。

４　その他の方法の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載してください。